



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月1日

上場会社名 オルガノ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6368 URL <https://www.organo.co.jp/>  
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山田 正幸  
問合せ先責任者（役職名）経営統括本部 経理部長（氏名）園部 茂 TEL 03-5635-5111  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月9日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	74,323	13.5	11,480	46.1	11,946	39.9	8,134	46.9
2024年3月期中間期	65,469	5.4	7,855	20.7	8,539	14.6	5,538	10.2

（注）包括利益 2025年3月期中間期 9,050百万円（36.8%） 2024年3月期中間期 6,615百万円（6.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 176.97	円 銭 —
2024年3月期中間期	円 銭 120.64	円 銭 —

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 180,814	百万円 108,490	% 59.9
2024年3月期	百万円 182,703	百万円 102,147	% 55.8

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 108,245百万円 2024年3月期 101,928百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 41.00	円 銭 —	円 銭 61.00	円 銭 102.00
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 71.00	円 銭 —	円 銭 71.00	円 銭 142.00
2025年3月期（予想）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 71.00	円 銭 142.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	9.7	28,000	24.2	28,500	21.7	21,500	24.2	467.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) オルガノエコテクノ株式会社  
詳細は、添付資料10ページ「当中間期における連結範囲の重要な変更」をご覧ください。

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料10ページ「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	46,359,700株	2024年3月期	46,359,700株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	357,684株	2024年3月期	415,524株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	45,964,750株	2024年3月期中間期	45,908,622株

(注) 当社は、役員向け株式交付信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数(中間期)の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当中間期における連結範囲の重要な変更)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日～9月30日)における世界経済は、中東情勢などの地政学的リスクや中国における景気減速の影響がありながらも、米国を中心に底堅い動きが継続いたしました。国内経済も緩やかな回復傾向が続きましたが、先行きについては欧米における高金利水準の継続や、海外の景気下振れリスクへの注意が必要な状況が続いております。

当社の主力市場である電子産業分野においては、生成AI(人工知能)関連の半導体需要増加を受け、最先端半導体の設備投資が拡大したほか、データセンター向けを中心にメモリーの需要も増加するなど、全体として好調な状況が継続いたしました。また、医薬や食品、電子周辺分野などの一般産業分野、電力・上下水など社会インフラ分野においても設備投資やメンテナンスなど堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは国内外で大型プロジェクトの受注・納入活動を進めるとともに、プラントエンジニアリングプロセスの効率化を目指したDX関連の投資や、グローバルでの人材育成・活用施策の推進など生産・納入キャパシティの増強に取り組むとともに、次世代の技術や新たな事業の創出を目指した研究開発活動の拡充、サステナビリティやガバナンスの高度化などに向けた各種施策を進めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における業績は、受注高92,755百万円(前年同期比21.8%増)、売上高74,323百万円(同13.5%増)、営業利益11,480百万円(同46.1%増)、経常利益11,946百万円(同39.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益8,134百万円(同46.9%増)となり、繰越受注残高は137,671百万円(同3.6%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しているため、前中間連結会計期間との比較・分析は変更後の区分に基づいております。

[水処理エンジニアリング事業]

#### ■ 受注高

受注高は前年同期比24.6%増となる80,166百万円となりました。電子産業分野では、台湾や中国において半導体向けの大型プロジェクトを受注したことに加え、設備保有型サービスなどソリューション案件も好調に推移するなど、受注高が増加いたしました。また、一般産業分野においても新たに建設が進むハイパーカミオカンデ向けの超純水設備や電子周辺分野の大型案件を受注するなど好調な受注を維持しております。社会・インフラ分野の受注高は国内の発電所の更新工事の受注などによって増加いたしました。

#### ■ 売上高

売上高は前年同期比14.8%増となる61,885百万円となりました。電子産業分野では、台湾・中国・東南アジアにおいて前年度から繰越受注残となっている大型案件が順調に進捗したことに加えて、設備保有型サービスや各種メンテナンスなどソリューション案件が好調に推移したことから売上が増加いたしました。また、一般産業分野においても前年度からの繰越受注残の大型案件が順調に進捗したことや、ソリューション案件が好調に推移したことで売上高が増加いたしました。社会・インフラ分野は国内を中心に堅調に推移しており、前年同期並みの売上高を確保しております。

#### ■ 営業利益

営業利益は前年同期比52.0%増となる9,802百万円となりました。人件費や外注費などを中心に販管費が増加しましたが、電子産業分野や一般産業分野の大型プラント案件の売上増加に加え、比較的収益性が高いソリューション事業の売上が拡大いたしました。また、好調な設備投資を背景に良好な受注環境が継続したことや、原価低減・収益改善に向けた各種取組みなどによって利益率が改善したことなどから営業利益が増加いたしました。

[機能商品事業]

■ 受注高・売上高

受注高は前年同期比6.5%増となる12,589百万円、売上高は同7.4%増となる12,437百万円となりました。好調な半導体需要を背景に、電子産業向けのRO膜処理剤や排水処理剤などの水処理薬品が好調に推移したことに加え、電子材料の分離・精製に用いられるイオン交換樹脂などの機能材の販売が伸長し、売上高が増加いたしました。一方で、加工食品等に向けた食品添加剤は、若干の減収となりました。

■ 営業利益

営業利益は前年同期比19.3%増となる1,677百万円となりました。全般的な売上高の増加に加えて、比較的利益率の高い電子産業向けの水処理薬品や機能材などの売上が拡大したことや、原材料価格の上昇に伴う価格改定などの利益改善策を進めたことなどから営業利益が増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,889百万円減少し、180,814百万円となりました。これは主に、リース投資資産が7,492百万円増加したものの、棚卸資産が4,716百万円、売上債権及び契約資産が3,997百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8,232百万円減少し、72,323百万円となりました。これは主に、短期借入金が10,014百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6,342百万円増加し、108,490百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上に伴う利益剰余金5,326百万円の増加によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ975百万円減少し、16,666百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、営業活動によって得られた資金は、12,665百万円となりました。これは主に、設備保有型サービスに関する支出に対し、税金等調整前中間純利益の計上などによる資金の増加があったことによるものであります。(前中間連結会計期間は39百万円の収入)

なお、キャッシュ・フロー計算書におけるリース投資資産の増加額7,492百万円及び棚卸資産の減少額5,016百万円は主に、設備保有型サービスの設備完成により棚卸資産からリース投資資産への振替があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、投資活動によって支出された資金は、621百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,017百万円によるものであります。(前中間連結会計期間は808百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、財務活動によって支出された資金は、13,999百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減少額10,193百万円、配当金の支払額2,807百万円によるものであります。(前中間連結会計期間は455百万円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年7月31日に公表した業績予想を修正いたしました。

受注高につきましては、前回発表予想を上回る170,000百万円(前回発表予想比3.0%増)を見込んでおります。電子産業分野において好調な市場環境を背景にプラント・ソリューションともに受注が増加する見込みです。売上高につきましても、電子産業分野を中心に活発な生産活動が想定され、各種メンテナンスなどのソリューションサービスの売上が高い水準で推移する見込みであることから、前回発表予想を上回る見込みです。利益面につきましては、プラント案件の原価低減等による利益率の改善に加えて、比較的収益性が高いソリューション事業の売上が拡大することによって前回発表予想を上回る見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却などによって増加する見込みです。

今後各事業セグメントや各国・地域の動向を踏まえつつ、状況に応じて適宜見通しの修正を行ってまいります。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 160,000	百万円 24,500	百万円 24,800	百万円 17,600	円 銭 383.07
今回修正予想(B)	165,000	28,000	28,500	21,500	467.75
増減額(B-A)	5,000	3,500	3,700	3,900	
増減率(%)	3.1	14.3	14.9	22.2	
(ご参考)前期連結実績 (2024年3月期)	150,356	22,544	23,425	17,310	376.92

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,642	16,666
受取手形、売掛金及び契約資産	77,773	74,558
電子記録債権	4,452	3,670
リース投資資産	27,814	35,306
商品及び製品	7,707	8,176
仕掛品	9,221	5,296
原材料及び貯蔵品	4,902	3,642
その他	3,978	4,022
貸倒引当金	△23	△24
流動資産合計	153,469	151,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,526	19,725
減価償却累計額	△13,550	△13,776
建物及び構築物(純額)	5,976	5,948
機械装置及び運搬具	6,706	6,993
減価償却累計額	△5,828	△5,921
機械装置及び運搬具(純額)	877	1,072
土地	12,304	12,436
建設仮勘定	148	391
その他	6,557	6,833
減価償却累計額	△5,229	△5,488
その他(純額)	1,327	1,345
有形固定資産合計	20,634	21,194
無形固定資産	986	1,012
投資その他の資産		
投資有価証券	2,835	2,179
退職給付に係る資産	1,955	2,049
繰延税金資産	2,404	2,668
その他	600	565
貸倒引当金	△183	△171
投資その他の資産合計	7,613	7,291
固定資産合計	29,233	29,499
資産合計	182,703	180,814

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,842	21,499
電子記録債務	2,839	2,946
短期借入金	34,065	24,050
未払法人税等	3,605	4,446
契約負債	3,920	2,702
賞与引当金	1,890	2,387
製品保証引当金	1,686	1,403
工事損失引当金	83	82
役員株式給付引当金	107	51
その他	4,561	5,357
流動負債合計	72,602	64,928
固定負債		
長期借入金	2,400	1,800
繰延税金負債	59	77
退職給付に係る負債	5,344	5,378
その他	149	139
固定負債合計	7,953	7,395
負債合計	80,555	72,323
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	82,907	88,233
自己株式	△518	△418
株主資本合計	98,122	103,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	774	189
為替換算調整勘定	1,923	3,446
退職給付に係る調整累計額	1,108	1,059
その他の包括利益累計額合計	3,805	4,695
非支配株主持分	219	245
純資産合計	102,147	108,490
負債純資産合計	182,703	180,814



(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	65,469	74,323
売上原価	47,340	51,179
売上総利益	18,129	23,143
販売費及び一般管理費	10,274	11,663
営業利益	7,855	11,480
営業外収益		
受取利息	46	60
受取配当金	22	22
為替差益	575	418
持分法による投資利益	62	30
その他	112	68
営業外収益合計	819	601
営業外費用		
支払利息	107	128
その他	27	7
営業外費用合計	134	135
経常利益	8,539	11,946
特別利益		
固定資産売却益	6	4
投資有価証券売却益	3	724
特別利益合計	10	728
特別損失		
固定資産廃棄損	22	8
特別損失合計	22	8
税金等調整前中間純利益	8,527	12,665
法人税等	2,985	4,519
中間純利益	5,541	8,146
非支配株主に帰属する中間純利益	3	11
親会社株主に帰属する中間純利益	5,538	8,134

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	5,541	8,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	205	△585
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	879	1,537
退職給付に係る調整額	△15	△48
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	1,073	904
中間包括利益	6,615	9,050
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,583	9,024
非支配株主に係る中間包括利益	32	26

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	8,527	12,665
減価償却費	955	871
引当金の増減額(△は減少)	632	226
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	57	21
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△120	△159
受取利息及び受取配当金	△69	△83
支払利息	107	128
為替差損益(△は益)	△97	△222
持分法による投資損益(△は益)	△62	△30
固定資産廃棄損	22	8
有形固定資産売却損益(△は益)	△6	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	△724
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	6,082	6,892
リース投資資産の増減額(△は増加)	△19,140	△7,492
棚卸資産の増減額(△は増加)	12,016	5,016
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,027	134
その他	△574	△877
小計	3,299	16,371
利息及び配当金の受取額	81	95
利息の支払額	△103	△132
保険金の受取額	73	6
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,311	△3,676
その他	—	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	39	12,665
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△624	△1,017
有形固定資産の売却による収入	7	4
無形固定資産の取得による支出	△201	△163
投資有価証券の取得による支出	△1	△303
投資有価証券の売却による収入	9	858
その他	2	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△808	△621
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,047	△10,193
長期借入金の返済による支出	△900	△895
配当金の支払額	△1,518	△2,807
その他	△85	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	△13,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	457	980
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△767	△975
現金及び現金同等物の期首残高	15,558	17,642
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,790	16,666

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当中間期における連結範囲の重要な変更)

当社は、2024年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社であったオルガノエコテクノ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社は、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前中間純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,890	11,579	65,469	—	65,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	195	195	△195	—
計	53,890	11,774	65,665	△195	65,469
セグメント利益	6,448	1,406	7,855	—	7,855

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、中間連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,885	12,437	74,323	—	74,323
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	182	182	△182	—
計	61,885	12,620	74,505	△182	74,323
セグメント利益	9,802	1,677	11,480	—	11,480

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、中間連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、重点事業である機能材料事業を機能商品本部におけるデジタルマーケティング戦略等により拡大するため、プラント本部エレクトロニクス事業部傘下の分離精製ビジネスユニットを機能商品本部機能商品事業部機能材料部傘下に移設しました。これに伴い、当中間連結会計期間より、従来「水処理エンジニアリング事業」に含まれていた、分離精製事業を「機能商品事業」に含める変更をしております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載していません。

3. 補足情報

**2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結決算概況**

1) 事業セグメント別受注高・売上高・営業利益

(単位：百万円)

		2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
		上期実績	通期実績	上期実績	通期予想	上期	通期
水 エ ン ジ	受注高	64,324	120,420	80,166	145,000	15,841	24,579
	売上高	53,890	126,393	61,885	140,000	7,995	13,606
	営業利益	6,448	19,111	9,802	24,400	3,353	5,288
	(%)	12.0%	15.1%	15.8%	17.4%	3.8pt	2.3pt
機 能 商 品	受注高	11,825	24,048	12,589	25,000	763	951
	売上高	11,579	23,962	12,437	25,000	858	1,037
	営業利益	1,406	3,433	1,677	3,600	271	166
	(%)	12.1%	14.3%	13.5%	14.4%	1.4pt	0.1pt
全 社	受注高	76,150	144,468	92,755	170,000	16,605	25,531
	売上高	65,469	150,356	74,323	165,000	8,853	14,643
	営業利益	7,855	22,544	11,480	28,000	3,625	5,455
	(%)	12.0%	15.0%	15.4%	17.0%	3.4pt	2.0pt

(注) 当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しているため、2024年3月期の数値は変更後の区分に組み替えて表示しております。

2) 事業セグメント別・部門別売上高

(単位：百万円)

		2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
		上期実績	通期実績	上期実績	通期予想	上期	通期
水エンジン事業		53,890	126,393	61,885	140,000	7,995	13,606
	プラント	29,609	68,749	31,622	73,000	2,013	4,251
	ソリューション	24,281	57,644	30,263	67,000	5,982	9,356
機能商品事業		11,579	23,962	12,437	25,000	858	1,037
	薬品	4,246	8,589	4,634	9,800	388	1,211
	機器・機能材	4,028	9,116	4,710	10,000	682	884
	食品	3,305	6,257	3,094	5,200	△211	△1,057
全社 売上高		65,469	150,356	74,323	165,000	8,853	14,643

(注) 当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しているため、2024年3月期の数値は変更後の区分に組み替えて表示しております。

3) 地域別受注高・売上高

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期予想	上期	通期
受注高	76,150	144,468	92,755	170,000	16,605	25,531
日本	54,741	109,955	55,411	107,000	670	△2,955
台湾	11,142	15,589	26,877	35,000	15,735	19,411
中国	2,335	8,176	7,878	16,000	5,543	7,824
東南アジア・ 米国他	7,932	10,748	2,589	12,000	△5,343	1,252
売上高	65,469	150,356	74,323	165,000	8,853	14,643
日本	44,141	96,544	44,213	103,000	71	6,455
台湾	8,973	18,555	13,285	28,000	4,311	9,444
中国	6,208	19,996	9,322	18,000	3,113	△1,996
東南アジア・ 米国他	6,145	15,260	7,502	16,000	1,356	739

4) 水処理エンジニアリング事業 市場別受注高・売上高

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期予想	上期	通期
受注高	64,324	120,420	80,166	145,000	15,841	24,579
電子産業	41,663	78,246	55,448	101,000	13,785	22,754
一般産業	15,973	30,986	17,337	32,000	1,364	1,014
電力・上下水	6,688	11,188	7,382	12,000	694	812
売上高	53,890	126,393	61,885	140,000	7,995	13,606
電子産業	37,619	88,292	44,395	98,000	6,776	9,708
一般産業	13,021	27,469	14,248	30,000	1,227	2,531
電力・上下水	3,250	10,633	3,243	12,000	△7	1,367

(注) 当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しているため、2024年3月期の数値は変更後の区分に組み替えて表示しております。